

レインボーまつもと21

(まつもと農村女性協議会コーナー)

■25年度前半の活動から

南アルプス市商工会に学ぶ 六次産業化

8月22日の猛暑の中、山梨県南アルプス市商工会による、農工商連携の六次産業化について視察させていただきました。

南アルプス市では、商工会が市内J・A・農事組合法人・個人農業者と連携して、桃源郷フルーツプロジェクト実行委員会を立ち上げ、桃やスモモなどの果物を使って地域振興を図っています。

市内でも特に優れた果物を作る農業者を認定する「完熟フルーツマスター」や、リピーター率が高い独自の果物狩り体験ツアーなど、商工会が様々な企画を行っています。また、特産品の開発や、新たな流通システム構築を、農業者と商工業者が協働で行っており、消費者・生産者・商店の流通の橋渡しに商工会が非常に積極的であると感じました。

地元の主産業が農業であると認識し、果物を使って地域振興に取り組んだ桃源郷フルーツプロジェクトは他に例のない農工商連携で

す。なによりもお話ししてくださった商工会の皆さんの熱意に敬服しました。

(旧市地区会長 赤羽米子)



スモモ「貴陽」のお酒

南部ブロック農業委員 と農村女性の懇談会

6月25日、内田出張所で、南部ブロックの現状と課題を話し合う懇談会が行われました。

南部ブロックは、東は内田から西は今井までの大変広い地域です。全員で38名が出席しました。まずは自己紹介で自分の家と地区の現状を話し、あらためてさまざまな状況の中で農業と関わっていること、農村女性のなかでも非農家の会員もいるということを知りました。

その後、主に農業の担い手不足

について意見交換を行いました。農業従事者の高齢化が進んでいますが、親として農業は大変だと思っうので子どもや孫には手伝わせず、自分で頑張ってしまう方も多くいると思います。

懇談会では、「農業＝大変」という話ばかりをするのではなく、こうすれば楽しいんだよ、取れた作物はおいしいんだよと、まず農業から生まれる喜びやうれしさなどを伝えることが重要だという意見が多く出ました。大規模化や専業化という前に、まずは農業の魅力を語るのが今の私たちの役割ではないかと思いました。

初めてお会いする方も大勢いました。同じ南部のなかでも東と西の現状を聞き、大変良い勉強になった懇談会でした。

(笹賀地区農村女性委員会)



他にも全体でこんな活動をしました。



農林業まつりへの参加



旬の農産物を使った料理講習会



食育パネル展への参加